

岩波講座

岩波講座

第七次計畫發表

會員募集

山崎書店
立教大學構内

哲學

西田幾多郎編輯

岩波講座はいづれも其方面の權威として絶大の信頼を獲得して來た。特に本講座の如きは獨り五等のみの能く企劃し得るものとして世人多年の期待の集まる所である。吾等の熱誠且細心の努力は今や報いられ、名實共に唯一無二の哲學講座を世に送り得るに至つた。其豊富にして整備せる内容の悉くが價値高きは言ふに及ばず、ありふれた講座の類に寄稿するを屑しとせぬ最高權威に參與を請ひ得て本講座は愈重きを加ふ。哲學は一切の科學の根柢、人生の活動の原理である。何人も時代の要求に適切に編輯せられた本講座に就き、他に到底見るを得ざる名品に接して、自己の研究と生活とに裨益せられる所あれ。

項目及び執筆者

唯物論史 矢野龍溪
唯心論史 出 隆
神祕思想史 西谷啓治
一 概 說
二 社會史的思想史
三 社會史の思想史
イデオロギーの發生
道 徳 宇野浩二
宗 教 杉本孝次郎
藝 術 長谷川如是閑
數 學 小倉金之助
自然科學 岡 邦雄
社會科學 加田哲二
歷史的時代 三木清
古 代 羽仁五郎
中 世 林 達夫
近 世 羽仁五郎
現 代 本多謙三

二 問題史的哲學史

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

三 社會史的思想史

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

四 體系的哲學史

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

五 現代の哲學

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

六 哲學と諸科學

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

七 哲學と社會

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

八 哲學と人生

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

九 哲學と藝術

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

十 哲學と科學

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

十一 哲學と宗教

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

十二 哲學と歴史

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

十三 哲學と政治

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

十四 哲學と法律

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

十五 哲學と経済

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

十六 哲學と教育

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

十七 哲學と倫理

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

十八 哲學と美学

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

十九 哲學と音楽

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

二十 哲學と演劇

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

二十 哲學と演劇

第一 村岡典嗣
第二 西 澤 郎
第三 山内得謙
第四 伊藤吉之助
第五 杉本孝次郎
第六 安田徳太郎
第七 大西克禮
第八 新 井 隆

日本聖公會京都地方部外國婦人傳道補助員編纂

彩聖劇集

最新刊四六判箱入挿畫多數

定價金壹圓五十錢

幼 年 者 用

一 聖劇の二十の教説

1 救主 (降誕) 小 野 浩二
2 ベツレヘムの星 (降誕) 小 野 浩二
3 来りて拜め (降誕) 小 野 浩二
4 ケリスマス小劇 (降誕) 小 野 浩二
5 現異邦日の影 (降誕) 小 野 浩二
6 クリスマス木 (降誕) 小 野 浩二
7 クリスマス (降誕) 小 野 浩二
8 ベツレヘムの塔 (降誕) 小 野 浩二
9 降誕と牧羊者 (降誕) 小 野 浩二
10 降誕の光輝 (降誕) 小 野 浩二
11 降誕の光輝 (降誕) 小 野 浩二
12 降誕の光輝 (降誕) 小 野 浩二
13 降誕の光輝 (降誕) 小 野 浩二
14 降誕の光輝 (降誕) 小 野 浩二
15 降誕の光輝 (降誕) 小 野 浩二
16 降誕の光輝 (降誕) 小 野 浩二
17 降誕の光輝 (降誕) 小 野 浩二
18 降誕の光輝 (降誕) 小 野 浩二
19 降誕の光輝 (降誕) 小 野 浩二
20 降誕の光輝 (降誕) 小 野 浩二

基督教讀本

柳原貞次郎著

四六版 約三百頁 布裝箱入 定價 一圓廿錢

少年祈の栞

菊半截美裝

定價金二十錢 小供の爲の自

コト下後書註解

四六判布裝 定價一圓三十錢

スキースキ

（携必一ヤースキ）

小秋元隆邦著

雪の王者は誰か

坂部護郎著

近キス一術

小秋元隆邦著

寫真帖

小秋元隆邦著

三省堂

大塚金之助述 一四六判 定價五十錢

世界經濟恐慌と國際消費組合

著者 安田徳太郎博士譯

五ヶ年計畫の話 (新編) 定價六十錢

大學の象牙の塔は揺ぐ!!

大塚金之助著

定價金一圓卅錢

獨逸講座

柏谷眞洋著 最新刊

力學・進速・谷式

柏谷眞洋著

南山堂書店

社説

就職難

就職難は、年々深刻化して、世帯の生活に甚大な影響を及ぼしている。...

英文學書一千冊を米國へ寄贈依頼す

英文學書の寄贈は、米國の教育に多大の利益を及ぼす。...

大學の心臓は圖書館にあり

圖書館は大學の心臓である。その健全な発展は、大學の発展に直結する。...



本校の新年會の様子

本校の新年會は、大いに盛況を博した。...

遂に再度流會の經濟學會講演會

經濟學會の講演會は、遂に再度開催される。...

哲學講演會

哲學講演會は、三木清氏を迎えて開催される。...

高松、今村兩氏久し振りに出版

高松、今村兩氏は、久し振りに著作を出版した。...

經營難に面直し

経営難に面直し、突如時事新報社で五日發會式を挙ぐ。...

聖同胞會代表明夏來朝す

聖同胞會代表は、明夏に日本に來朝する。...

波亂も見せず 總務委員決定

波亂も見せず、運動部絕對多數を占む。...

莊嚴感激の裡に 耶蘇降誕祭終る

莊嚴感激の裡に、耶蘇降誕祭を終る。...

邦文立教要覽近刊

邦文立教要覽は、近頃刊行された。...

圖書の切抜き

圖書の切抜きは、演田司書遺稿を語る。...

時間空間

時間空間は、邦文立教要覽に収録された。...

見物

見物は、日本旅行の目的である。...

赤字に悩む

赤字に悩む、学生の討議にかけられる。...

權威「史苑」

權威「史苑」、学生の討議にかけられる。...

校友會總會終る

校友會總會は、松崎氏を再び會長に選出する。...

再選

再選は、校友會總會の重要な事項である。...

時の敗者ラグビー部 今秋の敗因は茲に

根本主將の自發的退部で 往年の團結を再び結ぶ

ラグビー部は、昨秋の敗北を以て、今年度の活動方針を一新し、根本主將の自發的退部を以て、往年の團結を再び結ぶ。根本主將の退部は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。根本主將の退部は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。根本主將の退部は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。

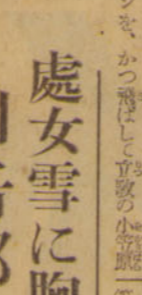
野球部新主將は 捕手小笠原君



新主將小笠原君

野球部は、昨秋の敗北を以て、今年度の活動方針を一新し、根本主將の自發的退部を以て、往年の團結を再び結ぶ。根本主將の退部は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。根本主將の退部は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。根本主將の退部は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。

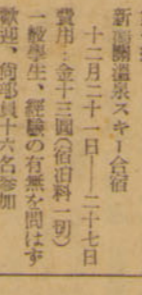
處女雪に胸躍る 山岳部の計畫



山岳部部長

山岳部は、今年度の活動方針を一新し、處女雪に胸躍る。山岳部の計畫は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。山岳部の計畫は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。山岳部の計畫は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。

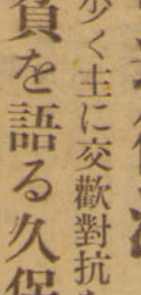
庭球部の 三君惜敗



庭球部部長

庭球部は、昨秋の敗北を以て、今年度の活動方針を一新し、三君惜敗。庭球部の活動方針は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。庭球部の活動方針は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。庭球部の活動方針は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。

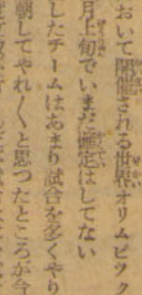
野球部遠征決る 抱負を語る久保田部長



野球部部長

野球部は、今年度の活動方針を一新し、遠征決る。野球部の活動方針は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。野球部の活動方針は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。野球部の活動方針は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。

榮 久保田部長談



久保田部長

久保田部長は、今年度の活動方針を一新し、遠征決る。久保田部長の活動方針は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。久保田部長の活動方針は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。久保田部長の活動方針は、部員間の團結を再び結ぶための重要な一歩である。

哀調悲し大薩摩

大人袋の五錢玉
梨園を荒す時代色

先輩と語る

拳闘部の合宿

思ひ叶つて 自動車購入

燎原火の如く 籠球部三度優勝

十九、廿日同志社高商と對戦

現選手を出した 帝大のカラクリ

帝大のカラクリ

帝大のカラクリ

帝大のカラクリ

帝大のカラクリ

帝大のカラクリ

帝大のカラクリ

帝大のカラクリ

帝大のカラクリ

帝大のカラクリ

帝大のカラクリ



哀調悲し大薩摩
大人袋の五錢玉
梨園を荒す時代色

小型映画の 學内二ユース

盛岡で アイス・ホッケー

母校に捧ぐる 應援歌

各部の戦後

文化團體

軟式野球部結成

田中

乗権

運動部

支那酒各種

支那酒各種

支那酒各種

支那酒各種

支那酒各種

支那酒各種

支那酒各種

支那酒各種

スキー用品売出し

十一月十五日より 三津(橋本店)にカマゴ(橋本) 開始
スキー用品の多岐にわたる品揃えが、スキーヤーの待望の的。スキー用品の多岐にわたる品揃えが、スキーヤーの待望の的。スキー用品の多岐にわたる品揃えが、スキーヤーの待望の的。

支那酒各種

支那酒各種
支那酒各種
支那酒各種

支那酒各種

支那酒各種
支那酒各種
支那酒各種

支那酒各種

支那酒各種
支那酒各種
支那酒各種

支那酒各種

支那酒各種
支那酒各種
支那酒各種

支那酒各種

支那酒各種
支那酒各種
支那酒各種

支那酒各種

支那酒各種
支那酒各種
支那酒各種

支那酒各種

支那酒各種
支那酒各種
支那酒各種

支那酒各種

支那酒各種
支那酒各種
支那酒各種



ゴウルの文學評論その他

高垣松雄

十年前のアメリカ文學批評家は、プロレタリア作家の出現を歓迎して、その活動の中心をなして、その活動の中心をなして、その活動の中心をなして...

洋書壇一年

推名一郎

二、三冊の洋書が、一、二年の間に、我が國の洋書壇に登場した。その中には、我が國の洋書壇に登場した。その中には、我が國の洋書壇に登場した...

「アメリカーの悲劇」 杉本俊一

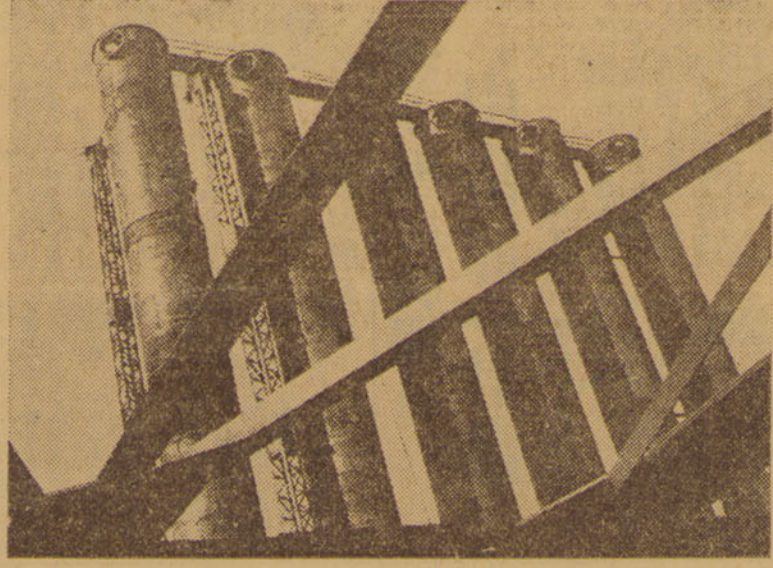
「アメリカーの悲劇」 杉本俊一

「アメリカーの悲劇」 杉本俊一

「アメリカーの悲劇」 杉本俊一

「アメリカーの悲劇」 杉本俊一

「アメリカーの悲劇」 杉本俊一



「填太利のルンペン」

菊池重三郎

「填太利のルンペン」 菊池重三郎

「填太利のルンペン」 菊池重三郎

「填太利のルンペン」 菊池重三郎

「填太利のルンペン」 菊池重三郎

「填太利のルンペン」 菊池重三郎

「填太利のルンペン」 菊池重三郎

「填太利のルンペン」 菊池重三郎

「填太利のルンペン」 菊池重三郎

「填太利のルンペン」 菊池重三郎

「填太利のルンペン」 菊池重三郎

「填太利のルンペン」 菊池重三郎

「填太利のルンペン」 菊池重三郎

「填太利のルンペン」 菊池重三郎

Advertisement for 'Onion Diary' (ライオン日記) and other products, including 'Ameyama' (美津濃) shoes and 'Tenku' (天空) clothing.